

2023年8月31日

各 位

株式会社三井住友銀行

タカラレーベン不動産投資法人への  
シンジケーション形式による「グリーンローン」の組成について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕/以下、「三井住友銀行」）は、タカラレーベン不動産投資法人（執行役員：宰田 哲男/以下、「TLR」）に対し、シンジケーション形式のグリーンローン（以下、「本ローン」）を組成いたしました。

グリーンローンは、企業等が環境問題の解決に貢献する事業（以下、「グリーンプロジェクト」）に要する資金を調達する際に用いられる融資であり、具体的には、①調達資金の使途がグリーンプロジェクトに限定され、②調達資金が確実に追跡管理され、③それらについて融資後のレポートを通じ透明性が確保されたものを指します。

TLRは、2018年7月に東京証券取引所（不動産投資信託証券市場）に上場した総合型のJ-REITで、オフィス、住宅、ホテル、商業施設等を投資対象としています。資産運用業務はタカラPAG不動産投資顧問株式会社（本資産運用会社）が行っており、従前からメインスポンサーとなっているタカラレーベンは、2022年10月の持株会社体制への移行によって持株会社のMIRARTHホールディングスと、その100%子会社として不動産事業を担うタカラレーベンに再編されています。

TLRは、不動産における環境（Environment）・社会（Social）・ガバナンス（Governance）（以下、「ESG」）への配慮が、中長期的な顧客の利益の最大化に資するものと考え、2018年6月にTLRが資産の運用を委託する資産運用会社であるタカラPAG不動産投資顧問株式会社により策定されたサステナビリティ方針に沿って、ESGの視点を事業全体に組み込んでいます。ESGへの取組みの一環として、2019年に「Green Star」評価を取得したGRESBリアルエステイト評価への参加や、DBJ Green Building認証、BELS評価、CASBEE不動産評価認証等の外部評価機関による認証・評価の取得を通じて、保有物件における環境・省エネルギー対策や多様な社会的要請に配慮した取組みを進めています。

今般、このような取組みの一環として、TLRが策定した「グリーンファイナンス・フレームワーク」（以下、「本フレームワーク」）の適格クライテリアを充足するラグゼナ平和台取得資金のリファイナンス資金としてグリーンローンを組成しました。本フレームワークは、第三者評価として株式会社日本格付研究所（JCR）より「JCRグリーンファイナンス・フレームワーク評価」の最上位評価である「Green 1（F）」を取得しています。

三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会及び市場の形成にも一層貢献を行ってまいります。

【本ローンの概要】

実行日	2023年8月31日
アレンジャー	三井住友銀行
契約金額	総額36億円
契約期間	4年
貸付人	三井住友銀行をアレンジャーとする協調融資団

(参考)

タカラレーベン不動産投資法人ホームページ：  
<https://takara-reit.co.jp/>をご参照下さい。

株式会社日本格付研究所（JCR）による「グリーンファイナンス・フレームワーク評価」の詳細：  
<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>をご参照下さい。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】  
サステナブルソリューション部  
TEL：03-4333-6964

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。